

病気予防

肺炎の予防接種に補助を

来年度から実施したい



みやち ようこ 議員
宮地 葉子

べきと思うが、どうか。

答 植田副町長

肺炎球菌ワクチンへの補助は非常に大事な事業と捉えており、遅きに失した感じもあるが来年度から行いたい。県の補助に町の補助千円を上乗せし、70才以上を対象に4千円の補助を検討している。実施は平成26年10月以降になると考える。

防災対策

「津浪碑」 案内板の補修を 3〜4年後 になる

問 黒潮町には有名な「安政津浪の碑」がある。津波の恐ろしさを伝えるために先人たちが後世の私たちに残してくれた貴重な伝言である。黒潮

町には津波高全国一の発表後、マスコミ関係者や観光客も訪れているそうだが、残念ながらこの碑は劣化しており何が書かれてあるか読めない。側の案内板もほとんど読めない。また「南海地震の碑」も立てられているが、これもほとんど読めず、この碑には案内板さえもない。

答 300年も前の祖先が大地震を体験したせっかくのメッセージが読めないのでは意味も半減し、黒潮町としては恥ずかしい事ではないだろうか。案内板を補修、または新たな取り付けを急ぐべきと思うが、どうか。

答 坂本教育長

「安政津浪の碑」は安政元年の大地震を目の当たりにした当時の入野村の若者たちが、後世への警告として建立したものだ。「南海地震の碑」は昭和21年の南海大地震の惨状について記されている。そこには祖先の後世の者を思う気持ちが入められており、現代に生きる私たちはこの祖先

からのメッセージをしつかりと受け止め、将来に生かし備えなければならぬ。機械などがなかった時代、苦勞して石を運び、文字を一字一文字刻んだ祖先の気持ちに報いることは、結果的に自分たちの命を守ることにつながるということを心にとどめ、この歴史的遺産を今に生かすことが現代の私たちの責務ではないかと考える。

整備は当然のことだが、一

方的に行政が整備するのではなく、防災教育の中で生かすこととし、来年度以降の防災教育の中で計画的に取り組みたい。期間は3〜4年ぐらいかと思っている。

その他の質問

※ 介護保険制度について



加茂神社境内に建てられている「安政津浪の碑」